



第24回合唱祭 一期一唱

感動をありがとう！第24回『合唱祭』

副校長 渡邊 泰祐

— 音楽は“時間の芸術” —

「音楽」は、ホールなどの舞台上で演奏された瞬間、すぐに消え入ってしまいます。『合唱祭』本番の舞台での演奏時間は、課題曲と自由曲を合わせてもせいぜい7～8分程度。しかも、そのわずかな時間に演奏される「音楽」は、一瞬のうちにホールから消えてなくなってしまう。残るものといえば、心の中の記憶くらいでしょうか。

しかし、そのわずかな演奏時間のために、生徒の皆さんは、何時間も時間をかけて繰り返し練習し、本番に臨みます。その上、ステージでは、一度発した音を消しゴムで消したり、修正したり、演奏し直したりすることができません。それだけにどのクラスも、どの生徒たちも相当な緊張感をもって、一つ一つの音を全部大切に、消えゆく一瞬一瞬を逃すことなく、出だしの一音から最後の一音まで懸命に演奏するのです。

ですから、VRでの旅行体験が、実際に観光地等に赴いて体感する本物の旅行にはとても及ばないように、CDやDVDによる鑑賞では得られない、ライブパフォーマンスと相互の鑑賞といったかけがえのない経験を、あの日・あの時、公会堂のホールで体験することができたのです。

「音楽」そのものや舞台上の演奏者の姿は、記憶には残るものですが、それだけでない、その演奏を体験することのみでしか得られない、形にはならないけど美しく温かい何かが、さらに心に残っているはず。あの大きな舞台上で素晴らしい演奏を繰り広げた皆さんは、きっと“時間の芸術”の醍醐味を味わうことができたことと思います。

いちごいっしょう

— 一期一唱 —

これは、今年度の『合唱祭』のスローガン。「一生に一

度限りの出会いとなると思って、心を込めてもてなさない」という、かの千利休が説いた茶道の心得“一期一会”をもとに、今年度の実行委員会がつくったものです。

“時間の芸術”である「音楽」の真髄をついた素敵なこのスローガンは、当日、吊看板に掲げられ（美術部が制作・デザイン）、合唱祭の舞台に華を添えました。

正に“一期一会”ならぬ“一期一唱”。どの学年、どのクラスも、同じメンバーで再び公会堂の舞台に立って合唱することは、もう二度とありません。特に3年生は、これが中学生最後の『合唱祭』となりました。進学先の上級学校では、合唱コンクールのような音楽系の行事が実施されない学校も多くあります。全身全霊を注いで熱演したあの一瞬が、人生最後のクラス合唱となった人もいることでしょう。きらびやかな歌声のシャワーがホールいっぱい降り注いだのは、“一期一唱”の字の如く、あの日、一生に一度きりのことでした。

3年生は、クラスの仲間たちと力を合わせて、あれだけハイレベルに熱演できたのですから、その感動を胸に、誇りをもって、次なる進路を切り拓いていってください。1・2年生は、圧巻の演奏を繰り広げた先輩の姿から、たくさんのことを学んだことでしょう。さらに、閉会式後の梅津先生のお話の中で示された課題もしっかり受け止め、来年度、この合唱祭をさらに充実、発展させてください。

聴き手の心を揺さぶる演奏とは、あの東原中学校『合唱祭』のパフォーマンスのことを言うのでしょうか。生徒全員でつくりあげた感動的な合唱祭の演奏全てに、改めて惜しみない拍手を贈るとともに、その瞬間に立ちあえたことに感謝の気持ちを表したいと思います。

教育活動の紹介

『第24回 合唱祭』10/28(木)

♪ No.0 吹奏楽部 (無観客・非公開)

『宝島』『ディズニー・アット・ザ・ムービー』



♪ No.2 学年合唱

1 学年 課題曲『夢は大空を駆ける』 2 学年 課題曲『春に』



3 学年 『校歌』・課題曲『聞こえる』



♪ No.4_2 年生合唱コンクール

2 C 自由曲『キミのもとへ...』 2 A 自由曲『あなたへ~旅立ちに寄せるメッセージ~』 2 B 自由曲『次の空へ』



♪ No.5_3 年生合唱コンクール

3 年 B 組 自由曲『証』 3 年 A 組 自由曲『サクラ色』



♪ No.7 開会式

★ 3 年生は教職員・生徒審査員の合計点数が同点だったため、
ダブル『金賞』に！ 正に甲乙つけがたい素晴らしい演奏でした！



●成績発表

●表彰

●実行委員長挨拶

●閉会の言葉

※演奏順

♪ No.1 開会式



●開会の言葉

●実行委員会副委員長挨拶



●校長挨拶

●審査方法及び諸注意

♪ No.3_1 年生合唱コンクール

1A 自由曲『時を越えて』



1B 自由曲『旅立ちの時~Asian Dream Song~』



2A 自由曲『あなたへ~旅立ちに寄せるメッセージ~』

2B 自由曲『次の空へ』



♪ No.6 混声合唱部

『遙かな時の彼方へと』『世界は私に笑いかけている』



各クラスの自由曲イメージ画



Making-of 『一期一唱』



●朝練習(パート別練習)



●縦割り練習(先輩から後輩へアドバイス)



●朝練習(パート別練習)



●体育館練習



●リハーサル

保護者の皆様の声(アンケートから)

中学生の思春期、人前で歌うのが恥ずかしい時期と男子は変声期、これだけ楽しんで歌うことを教育されていることに感動しました。3年生は見事に合唱として素晴らしいものをつくり上げていることに聴き入りました。コロナ禍での合唱祭の開催、ご尽力に感謝申し上げます。(1年生)

1A が歌うのはもちろんでしたが、2年生の歌声でこらえていた涙腺が決壊しました。全員がコーラス部なのかと思うほど感情をこめて、ていねいに歌っている姿に、チケット代を払ってでも聴きにきたいと思いました。特に3年生は女子の声美しく練りあがっていると感じ、男子とのバランスも絶妙でした。東原中学校がまとまっている、いじめもない和やかな校風は、あいさつとこの“歌”だとつくづく体感しました。満足な一日でした。先生方、PTA の方々、ご準備他、本当にありがとうございました。(1年生)

今日の本番はもとより、ここに至るまでの子どもたちが、いろんな苦勞をしながらつくりあげてきたことを想像すると、本当に素晴らしい経験をさせてもらっていると感じます。コロナのことで気にしないといけなことがまだ多々ある中で、多くのことに配慮していただきながらも、開催していただき、まことにありがとうございました。心が洗われる午後でした。(2年生)

完成度が高い、素晴らしいです。レベルが違います。誇りに思っています。コロナ禍でどうなるか心配でしたが、聴きに來られて良かったです。また一つ良い思い出が増えました。マスクがなかったらもっと素晴らしかったでしょうね。(3年生)

★ 平日の午後、各家庭1名に入館制限させていただいたにもかかわらず 179 名(在籍生徒数比: 75.8%)ものご観覧をいただきました。ありがとうございました。

どの学年も「よく練習したんだろうなあ」ということが伝わってくる合唱でした。皆さんが、心の底から歌と向き合っている姿に感動しました。1年生で言えば、小学生から中学生となつて半年、ずいぶんと合唱のスキルも上がったなあと感じました。2年生・3年生になったときの合唱が楽しみです。(1年生)

感動して鳥肌がたちました。かっこいいなと思いました。レベルが高くてどのクラスも上手だと思いました。学年合唱は圧巻でした。マスクをしていてもこんなに声が響き渡り、心に届くんだと驚きました。マスクで口が見えない、表情が分かりにくい、歌いにくい中でも「見えないからわからないだろう、自分くらい…」そんな人は誰一人いなくて、皆全力で一期一唱を楽しんでいるのが伝わってきました。(2年生)

東原中全体として、とても良い生徒さんであると改めて思いました。特に3年生はA・B組とも合唱する姿勢が素晴らしいと思います。前向きで丸くなってやるぞ、という雰囲気はきっと東原のカラーとして2年生・1年生と受け継がれることでしょう。各クラス人数の少ない2年生でしたが、何度も鳥肌がたちました。このまま東原中生として盛り上がってほしいです。(2年生)

コロナ禍の中、合唱祭を開催していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。3回目の合唱祭、1・2回目とは違うオーラを感じました。コロナで色々なイベントがなくなる中で、子どもたちのためにも今日という合唱祭を無事に迎えられ、親としてもホッとしています。子どもたちが歌っている姿、感動いたしました。先生方、本当にありがとうございました。(3年生)

Spin-off 『一期一唱』



●吹奏楽部がゲリラ的ライブを敢行！
演奏曲:『宝島』
【11/1(月)昼休み・校庭にて】

3年生はやはり上手でした。発声、ハーモニー、音の強弱など、とてもていねいに唱われていました。1・2年生も男子がよく声が出ていました。3年生は同時金賞で良かったです。素敵な時間を過ごせました。(3年生)

さすが！の最高学年です。色タイベントの中止等、続く中での合唱祭。意気込みも出来上がりも素晴らしかったです。マスク着用での発声はいくら慣れても大変だったでしょう。今日一日、子どもたちは楽しめたことと思います。保護者も観覧する形を作っていただき、先生方、役員の方々、子どもたちにも感謝します。ありがとうございました。(3年生)

私が音楽科の教員として東原中に赴任して4年目の平成18年に、それまでの体育館からようやく杉並公会堂での『合唱祭』開催が実現しました。3年生には“東原の伝統”について、道徳の時間にお話しましたが、その年の11月、第9回合唱祭の終了後に、当時の「学校だより」に寄稿した文章を、抜粋して紹介します。

一大成功！合唱祭の“舞台裏”

今年で9回目を迎えた『合唱祭』。半世紀を超える東原中の歴史からすれば、行事としての『合唱祭』は、まだ浅いものがあります。私が関わったのは平成15年の第6回から。昨年までの体育館での実施スタイルは、正に“手作り”という言葉がぴったりの、先生たちの思い入れの深い会場づくりでした。前日準備では、ベニヤ板がたくさん舞台上に運ばれ、みるみる反響版になり、壁にはプロジェクターから指揮者・伴奏者が映し出され…等々、それはそれで凄いものでした。

しかし、体育館で実施しているゆえ、音楽科として指導するのに困難も立ちはだかりました。例えば、こんなエピソードがあります。私が東原で赴任した年の合唱祭前の、あるクラスでの出来事です。「じゃあ、2回目のフレーズは“*p*”でエコーのように歌ってみよう」。一同合唱。「おお、いいねえ!」、生徒たちの間から歓声が上がります。「こういうレベルの高い演奏が、本番でもできるといい」。「よし、クラスに帰って練習しよう!」と生徒たち。ところが翌週、もう一度同じ曲の同じところを歌ってみると、元の木阿弥に。「どうした?先週、上手に歌えただろう」。すると、実行委員の子が、「教室で練習をしていたら、担任の先生から、《そんなショボイ声で歌っていたら負けちゃうぞ。体育館じゃあ声を喰らしてでも、腹からでかい声を出せ!》って言われました」。

幸い東原の生徒たちには当時から“歌心”が根付いていました。その気持ちは大切にしながら、生徒たちの意識や教職員の雰囲気、を、少しずつ変えていくしかないと考えました。本来の合唱は地声の大小の競い合いではなく、“*pp*”から“*ff*”まで幅広い強弱の表現が必要になるということ。そして、こうした音楽的な表現力を体得し、音楽を通して達成感を得るためには、『合唱祭』の実施は、体育館でなく音楽ホー

ルが適切であるということ、などです。

公会堂での実施を目指すには、「子どもたちがこまめで美しく歌えるのだから、体育館じゃもったいない」と、このような評価をいただけるくらいに生徒たちの合唱のレベルを上げていくしかありません。「声を喰らして大声コンテスト!」ならば、体育館でいいのですから。

東原の生徒たちには、底知れぬ力があります。自由で落ち着いた東原の校風も相俟って、一年また一年と、東原中全体に美しい音楽が浸透し始めているのを実感しました。音楽面で無名だった東原中は、やがて“音楽の盛んな学校”と評価いただけるまでに成長することができたのです。

「ブ——」。午前10時00分、開演のブザーが鳴り響きました。いよいよ第9回『合唱祭』の開幕です。開会式が終わり、学級歌、各学年の合唱コンクールと進行します。生徒たちの歌声はまるで天使の声のようにホールの空間で調和し、心地よく耳元に届きます。…以下の描写は皆さんがご覧になったとおりですので、割愛させていただきます。

ご来場いただき、お答えいただいたアンケートを全て拝見いたしました。幸い「合唱祭は体育館でよい」「公会堂で実施する必要はない」といったご意見は一通も無く、ほとんどの方から、「素晴らしい合唱祭、



●最後の体育館開催となった第8回合唱祭

来年もぜひ公会堂で」とお誉めの言葉をいただきました。私たち教職員一同は、来年度以降も継続して、音楽ホールで『合唱祭』が実施できるよう努力してまいります。

第24回合唱祭も、かくして成功裏に閉幕しました。閉会式後、梅津先生がこのようなお話をしてくださいました。「毎年、もうこれ以上最高の合唱祭にはならないだろうと思っているが、その年の合唱祭が終わると、去年以上に最高の合唱祭となる」。東原中の生徒の歌声が、聴く人の心を動かし続け、24回目のこの『合唱祭』にも、伝統のバトンが受け継がれたのだと実感しました。来年もまたきっと、“合唱の東原”を感じる事ができる『合唱祭』となることを期待して——to be continued.

《11月の主な予定》

- 1日(月) 生徒朝会、専門委員会・学校委員会
- 4日(木) 読書月間始、三者面談始(3年)
- 5日(金) 教育実習終
- 6日(土) 区連合文化祭始
- 8日(月) 朝礼、都学力調査(3年)区連合文化祭終
- 10日(水) 三者面談終(3年)、避難訓練
- 11日(木) 都学力調査(2年)
- 13日(土) 土曜授業(防災について・全学年)
- 15日(月) 安全指導

- 16日(火) 期末考査1日目②英語③理科④美術
- 17日(水) 期末考査2日目②社会③国語④技・家
- 18日(木) 期末考査3日目②数学③音楽④保体
- 19日(金) 学力テスト(3年)
- 22日(月) 職員会議
- 24日(水) 校外学習(2年)
- 25日(木) 学校給食運営協議会(試食会は無し)
- 28日(金) 校外学習(1年)